

令和6年度茨城県立結城第一高等学校 グランドデザイン

【校訓】 『自彊不息』

(じきょうやまず：自ら努めて励み、事に当たっては全力を尽くして怠らないこと)

【教育目標】

知育・徳育・体育の健やかな成長を図り、社会性や公共心を備えた地域社会に貢献できる有為な人材の育成に努める。

- (1) 教育内容や指導方法等の工夫・改善により基礎学力の定着を図るとともに、自ら学び自ら考え実践する力を育成する学校
- (2) 基本的生活習慣の確立を図るとともに、道德教育・特別活動等を通して、規範意識や豊かな心を育成する学校
- (3) 特別活動や体験学習等の活性化により、健やかな心身を育成する学校
- (4) 生徒一人一人の希望進路の実現を目指すとともに、望ましい勤労観・職業観を育成する学校
- (5) 「開かれた学校」を目指し、保護者・地域社会等と連携・協力しながら、教育活動の改善・充実を図る学校
- (6) 帰国・外国人生徒への教育の充実を図るとともに、日本文化や異文化への理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成する学校

【育成を目指す資質・能力】

- (1) 〈知識・技能〉
自分を客観的に見る力、コミュニケーション能力、他者を尊重する態度、職業についての基礎知識を養う。
- (2) 〈思考力・判断力・表現力〉
組織や社会における規範や法を理解し、積極的に社会参加する態度を養う。自分の考えを的確に相手に伝えるとともに自己理解を深化させ、自発的に進路選択を行う力を養う。
- (3) 〈学びに向かう力、人間性等〉
自らの進路を主体的に決めることにより、自ら学びに向かう態度と自己肯定感を養う。

【育てたい生徒像】

- ・社会生活での規範を大切に、豊かな心・健やかな体を持つ生徒
- ・自らすすんで学びに向かう姿勢を持つ生徒
- ・協働的に学習し、高い目標を持つことができる生徒
- ・課題を一つひとつ達成することをとおして、自己肯定感を高く持てる生徒
- ・進路を主体的に決定し、自分の未来を積極的に切り拓くことができる生徒
- ・日本の伝統や文化を尊重するとともに他国の文化を尊重できる国際感覚豊かな生徒
- ・地域の課題を発見し、課題解決に向けて行動できるような生徒

○特色ある学び

- 《1年》
なかまづくり活動を2回実施（5・7月本校）
- 《2年》
なかまづくり活動を新クラスで実施（5月）
進路講話・進路ガイダンス・進路見学会実施
インターンシップを全員で行う。（10月）
- 《3年》
一般教養・常識を身に付ける研究と演習（1学期）
外部講師を招聘して模擬面接を行う。（7月）
- 《外国人生徒支援》
特別の教育課程による日本語指導（習熟度別・放課後）

○教育活動の実施

- ・習熟度別編制（1年：数）
- ・チーム・ティーチング
（1年：国、公民、体、英、情 2年：国、歴、数、化、体、英 3年：体、英）
- ・ICTを活用した授業
- ・漢字検定、全国商業高等学校協会各種検定の受験
- ・就職や進学のための個別面接指導
- ・就職や進学対策としての小論文指導
- ・2年でのインターンシップ
- ・進路講演会（1、2年）
- ・進路ガイダンス（3年）
- ・地域探究活動

○指導体制、地域との連携

- ・全ての教員が「分かる授業」を推進する。
- ・進路指導部を中心にして、3年間を見通した進路指導をする。
- ・生徒指導部を中心にして、3学年で一致した生徒指導をする。
- ・多文化共生委員会を中心にして、関係機関と連携・協力を図りながら外国人生徒の日本語習得状況に応じた日本語指導や日本文化・生活への理解を深める指導をする。
- ・中学校訪問を積極的に行い、情報交換を通して連携・協力をする。
- ・ボランティア活動や地域の行事には積極的に参加し交流を深める。
- ・地域の方々や中学生に向けて、学校の情報を積極的に発信する。
- ・保護者や地域社会等からの要望や提言を集約・検討し、本校教育活動への一層の理解と協力を得られるようにする。